

<p>【イベント名】 第5回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 5回目のロシアとの内視鏡テレカンファレンスは、早期胃がんの難しい症例に焦点を当てた。多発性早期胃がんや未分化がん、そしてロシア及びヨーロッパで初の胃底腺型腺癌の臨床例が提示された。診断方法と治療方針について、参加者と各部門の専門家が議論した。今回クリミアから初めての参加があったが、ほとんど問題なく資料提示も滞りなく実施された。</p>
<p>【期日】 2018.10.29</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、ロバチェフスキー K+31 病院（ロシア）、ヤロスラヴリ地域癌病院（ロシア）、ヤロスラヴリ鉄道病院（ロシア）、ウラジオストク鉄道病院（ロシア）、ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター（ロシア）、ハバロフスク鉄道病院（ロシア）、国立心臓・内科センター（キルギス）、中央アジア研究教育ネットワーク（キルギス）、順天堂大学（日本）、シンフェロポリ内視鏡専門センター（ウクライナ）</p>	
	
<p>モニタに映し出される接続施設。</p>	<p>九州大学病院の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>テレポインターを使用した画像のディスカッション。</p>	<p>ヤロスラヴリ地域癌病院の様子。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：ヤロスラヴリ地域癌病院</p>
	
<p>ハバロフスク鉄道病院の様子。</p>	<p>ウラジオストク鉄道病院の様子。</p>
<p>撮影場所：ハバロフスク鉄道病院</p>	<p>撮影場所：ウラジオストク鉄道病院</p>